

## めぐみの風

## ご挨拶 理事長 宮本 宣義



2009年明けましておめでとうございます。米国でのサブプライム問題により経済崩壊がおこり、日本でも数年間の経済の失速により医療費削減に追い込まれ、医療崩壊が進み、医療改正の失敗により医師、看護師不足が深刻な状態となっております。こういう状況におきましても総理大臣が一年ごとに変わり政治の方向性、長期展望もなく、その場限りの政策にて悲観的な状態が続いております。医療をとりまく環境は厳しいですが、当院では職員の教育を中心に医療サービスの向上に全力を傾けていきたいと考えております。

最近では、入院患者様もさらに高齢化してきており、退院後の施設の紹介、在宅サービスを積極的にしておりますので、お困りの方はご相談下さい。今後も昨年同様、地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

## 病院の理念

患者様が安心して医療を受けることができるやさしい病院を目指します。

## 基本方針

患者様の人間としての尊厳、人権、プライバシーを守り、快適な医療環境を提供します。急性期、慢性期疾患の患者様に対し医療と看護の両面から幅広い対応を目指します。地域の医療機関と連携をとり、患者様のニーズに適した医療を提供します。

## 患者様の権利

- ① 患者様には常に1人の人間として人格を尊重され医療提供者と協力関係を築きよりよい医療を受ける権利があります。(パートナーシップ)
- ② 患者様には常に公平に医療を受ける権利があります。
- ③ 患者様には原則自分の医療を決定する権利があります。
- ④ 患者様には医療の内容、治療方針、検査内容、危険性などについてわかりやすい言葉で説明を受ける権利があり、且つ他の医師に意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
- ⑤ 患者様には不当に拘束をされたり苦痛を与えられたりすることなく病状等に応じて専門的な対応と援助を受ける権利があります。
- ⑥ 患者様には原則プライバシーを侵害されない権利があります。
- ⑦ 患者様にはご自分の診療録の開示を求める権利があります。



# 糖尿病の足病変について



宮本整形外科病院 院長 石岡 達司

今、日本では40歳以上の3人に1人が糖尿病または糖尿病予備軍です。糖尿病は、ご存知の通り神経、目、腎臓を傷害し、手足のしびれ、失明、人工透析が必要な腎不全を発症する怖い病気です。また、糖尿病は大きな血管にも障害をきたします。脳血管や冠動脈(心臓の血管)に障害が起これば心筋梗塞や脳卒中が発症します。当然、足の血管にも障害が起こります。足の血管が細くなり十分に酸素が足先まで供給できなくなれば、歩行による酸素不足のため筋肉痛が生じ、休息を取りながら歩かざるを得なくなります。この歩行を間欠性跛行(かんけつせいはこう)と言います。これに、水虫や細菌による感染症が合併すると神経障害のため、病気の進行に気づかず足が腐る糖尿病性壊疽(えそ)などの足病変(写真:右)を発症する場合がありますので、糖尿病の方は特に足の手入れ(フットケア)に注意を払ってください。

糖尿病の足病変は超音波検査、CTスキャン、MRIなどの進歩により簡単に診断できるようになって来ましたので、間欠性跛行の心配のある方は専門医で調べてみては如何でしょうか。

下肢へ血液が流れにくくなった場合、軽症なら内服薬で治療を行います。重症になると、細くなった血管を機械で広げたり、狭くなった血管を迂回するバイパスを作るなどの手術が必要になります。最近では、手術の代わりに血管新生遺伝子や骨髄細胞を狭くなった場所に直接投与し、血管を新たに作る遺伝子治療や再生医療が開発されています。また、ユニークな治療としてハエのウジ(英語:マゴット)を壊疽した病変部に付着させ重症の糖尿病性壊疽を短期に治療する方法(マゴットセラピー)も検討されています。

糖尿病による足病変は不意に発症する怖い側面を持っていますが、日々の治療やフットケアの実践により予防可能な病気です。たとえ、発症したとしてもその治療は革命的に進歩していますので、心配な方は専門医の診察をお勧めします。



(久徳茂雄.Diabetes Frontier.19:361)

## 受けてみませんか フットケア

糖尿病療養指導士  
大木めぐみ

糖尿病になると合併症に注意しなければなりません。三大合併症（腎・網膜・神経）があり、その中でも神経障害が一番多い合併症で、他の合併症より早い時期から始まることが多いと言われています。年間3000人以上の人が糖尿病の合併症により足を切断しています。早期に合併症を発見し、また予防していくことがとても重要です。

当院でも糖尿病の患者さんの合併症を防ぎ、将来の生活水準を維持できるようにしなければと考え始めました。

### フットケアの内容

#### 1 足をチェックしていきます

- 足の冷たさ
- 足の変形、浮腫の有無
- 足のタコ、水虫、魚の目、傷の有無
- 足の反射
- 足のサイズをはかり、靴をチェック
- 足の爪

#### 2 足をお湯に浸けて洗います

#### 3 足の爪を切ってやすりで形を整えます

#### 4 タコなど皮膚に肥厚がある場合、けずります

#### 5 保湿クリームをつけます

※足のケアの仕方、靴や靴下の選び方等をお話します。  
また糖尿病についての困っていることなど何でも専門看護師がお伺いします。



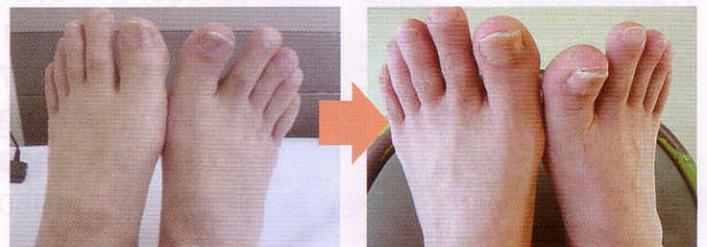
ケア前

ケア後



ケア前

ケア後



- 汚れが落ちて血行がよくなっています。
- 足の腫れがとれています。

- 爪は深爪になっていたので注意し、形のみ整えて、今後はその形に合わせて切っていただくよう説明しています。

## ■ インフルエンザワクチン

ワクチンを接種することでインフルエンザへの感染または重症化の予防となります。ただし、ワクチン用のウイルスは孵化鶏卵で培養するため、卵などにアレルギー、けいれんの既往症、免疫不全のある人、熱を出している場合などには接種できないことがあるので、医師に相談してください。

## ■ 日常生活での予防法

日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、室内を加湿器などを使って適度な湿度に保つことは有効な予防方法です。

1. 栄養と休養を十分取る

2. 人ごみを避ける

3. 適度な温度、湿度を保つ

4. 外出後の手洗いとうがいの励行

5. マスクを着用する

### 本院外来診療時間

		午 前		午 後	
整形	月～金	9:00～12:00	月～金	15:00～18:00	
	土	9:00～12:00	土	午後なし	
内科	月・水・木	8:45～12:00	月・水・金	16:00～18:00	
	火・金	9:00～12:00	火・木	15:00～18:00	
	土	8:45～12:00	土	午後なし	

注) 火・木の午後は手術日となっております。整形外科午後外来の時間が変更となる場合がありますので、ご注意ください。 ※平成20年1月1日より診療時間が変更しております。

### 駅前診療所診療時間

		午 前		午 後	
整形	月～金	9:00～12:00	15:00～18:00		
	土	9:00～12:00	午後なし		
内科	火・金	9:00～12:00	午後なし		

### 本院外来診療担当医師

		月	火	水	木	金	土	
本 院	整形	午前	安井	宮本	堅山	安井	堅山	宮本
		午後	宮本	宮本	和気	堅山	和気	—
内 科	午前	石岡	坂口	石岡	石岡	坂口	石岡	
	午後	坂口	前田	坂口	前田	坂口	—	

※平成20年4月1日より診療担当医師が一部変更となっております。

### 本院所在地

岡山市国富4-2-63

☎(086)272-1211 FAX(086)271-5554

### 駅前診療所

岡山市錦町2-8

☎(086)225-2311 FAX(086)225-2312

### 関連施設 社会福祉法人 恵風会の施設

岡山市今谷770-1

介護老人福祉施設 恵風荘	☎(086)277-0761	介護老人保健施設 恵風苑別館	☎(086)276-6101
恵風荘ショートステイ	☎(086)277-0761	介護老人保健施設 恵風苑デイ・ケア	☎(086)276-6101
恵風荘デイ・サービスセンター	☎(086)277-1977	ケアハウス 恵園	☎(086)274-7710
恵風荘在宅介護支援センター	☎(086)276-1990	グループホーム めぐみの家	☎(086)274-3018
恵風荘居宅介護支援事業所	☎(086)276-1990	恵風会ホームヘルプステーション	☎(086)274-7710
介護老人保健施設 恵風苑本館	☎(086)276-1980		

恵風会訪問看護ステーションくにとみ	岡山市国富4-2-63	☎(086)270-1088	FAX(086)271-5554
恵風会居宅介護支援ステーション	岡山市国富4-2-63	☎(086)270-1088	FAX(086)271-5554